

協働

学校訪問「山崎中学校学校運営協議会の工夫」紹介

2月13日（火） 13:30～16:30 山崎中学校校長室（全クラスの授業参観後）

学校運営協議会を GVC2 名が参観させていただきました。初めに授業参観、令和5年度の学校評価アンケート（生徒・保護者・教員・学校運営協議会委員）の説明と協議、そして令和6年度教育課程届を基にした学校経営方針の承認を行う最後の学校運営協議会でした。肯定的な評価が大変多くありました。その中での運営の工夫をご紹介します。



1、学年主任等による生徒の生活や学習活動についての報告

第2学年からは、「鎌倉校外学習のフィールドワークを次年度の修学旅行の事前学習として成果を上げたこと。」第3学年からは、「どの生徒にもしっかりと寄り添って進路決定のサポートをしていきたい。卒業までに持続可能な社会の防災学習のまとめをしたい。」との報告がありました。教職員と委員の心がつながるとても良い機会であると感じました。

2、学校評価で肯定率が高い項目と低い項目を分析し、成果と課題を明確にした報告

例えば「読書について」は、課題解決の工夫として、効果があったビブリオバトルの継続、図書室にある英語版の絵本や漫画をさらに充実させること。市立図書館の電子書籍活用、アンケートの聞き方にも工夫を加える等が活発に協議され、活動のPRも課題となりました。

3、小・中・高校との「持続可能な社会」をテーマにした新たな協働活動の提案

ユネスコスクールの都立山崎高校からは、次年度の文化祭で、小、中学校と連携した文化祭での協働活動を考えたい。これまで取り組んできたSDGsの探求学習から「持続可能な社会」をテーマに小中高が共に探究する協働学習に取り組みたいという提案がありました。この地域としてのコミュニティを生かした取組であり、



これからの CS と地域学校協働本部の一体的推進と熟議が楽しみな取組だと思いました。子どもたちによる熟議ができそうです。

4、最後の協議のまとめ・2024年度学校経営方針の承認

学校運営協議会委員から「子どもは、ほめられる事が大好きです。大人たちは本当に子ども達を見守り、ほめているだろうか。ほめることは、子どものいいところを見つけ、認めること、支えることだと思う。この評価は、大人自身の評価にもつながるのだと思います。生徒に寄り添う姿勢は高く評価されている。ほめることは難しいのです。みんな違って、みんないい。その心が大切ですね。」この話に、その通りと大人も学んだ協議会でした。

そして、最後は、学校経営方針を承認、次年度への準備が始まりました。子ども、大人にとって、今のこの学びが、自分の未来につながっているという実感を共に大切にしたいと思いました。自分の地域学校協働活動の目標ってなんだろう、皆で考えていきたいです。

第2回地区ミーティング、第6回地区統括ミーティングが終了しました

2023年度のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進についての活動を振り返り、次年度に向けての思いと情報を共有する各地区ミーティングと地区統括 VC のミーティングが行われました。どの地区も、地区統括 VC の工夫により、和やかな中にも活発な議論とたくさんの役に立つ情報交換がなされていましたが、今回とくに印象に残ったのは、統括 VC による協議グループの分け方の工夫とクロームブックの活用に積極的に挑戦して下さっていたことでした。従来の活動報告に加えて、子どもたちが、地域の方から学んでいる様子の写真や動画をクラスルームで共有しながらの報告や、当日、参加できない VC や管理職の先生のリモート参加など、自主研修などを積み重ねて、不慣れだったクロームブックをここまで使いこなしていただいたことに、心から感謝申し上げます。

今回は、紙面の都合上、限られた学校しかご紹介できず、申し訳ありません。

